

関西大学社会学部創設50周年記念事業

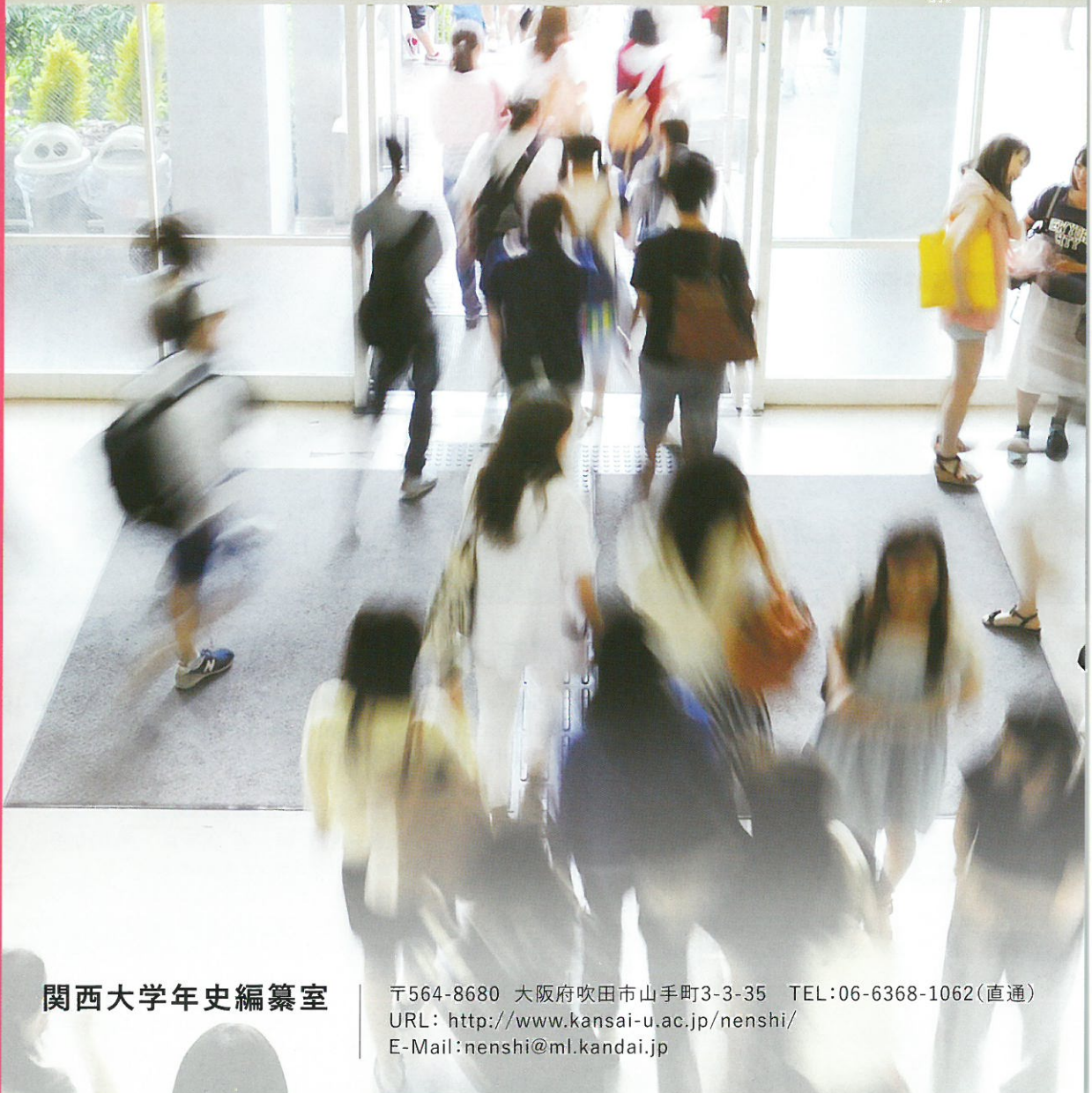
人と社会を みつめて

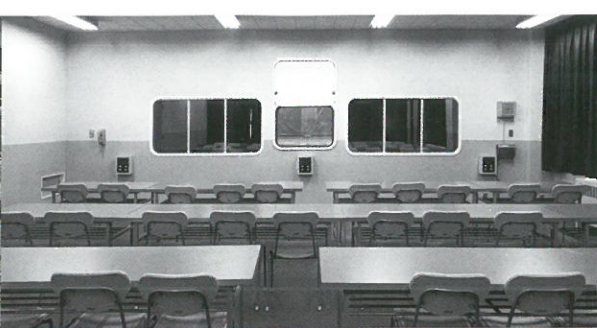
—関西大学社会学部50年のあゆみ—

2017年4月1日「土」開館

— 開館時間 — 午前10時～午後4時
— 場所 — 関西大学千里山キャンパス 簡文館1階
— 休館日 — 日曜・祝日・大学が定めた休日
— 入館料 — 無料

2017年度 関西大学 年史資料展示室 企画展





年史資料展示室では、2017年度の企画展として「人と社会をみつめて—関西大学社会学部50年のあゆみ—」を開催いたします。

関西大学社会学部は1967(昭和42)年4月1日に創設されました。法・文・経・商・工の5学部が続く、本学で6番目の学部です。天六舎で授業を開始し、翌年には千里山キャンパスに移転。以来豊かな自然に恵まれたこの地で、人と社会を見つめつけ、半世紀の歴史を刻みました。

日本の大学に「社会学部」がつくられたのは第二次世界大戦のあとのことでした。戦後の混乱から社会を再建し、平和で豊かな暮らしをとりもどす道のりでは、人と社会を究明する科学が必要とされました。

古い知のありかたでは答えを出しづらい、人と社会にかかわる複雑な問題。——これを解くために、複眼的な視点から学際的に思考する。それらを理論に練り上げつつも、つねに現実によりそい、実証的に検討する。これらが創立当時の社会学部に求められた研究・学習のかたちであり、その姿勢は現在もひきつがれています。

1973(昭和48)年には4専攻に拡充されます。その後も、多くの学生を受け入れ、社会に貢献する人材を送り出してきました。社会学部の発展の歴史は、戦後日本社会が経験した民主化や経済成長、価値観の多様化、情報化、国際化といった大きな潮流そのものを体現しています。1期生から女子学生が在籍したのも、他ならぬこの社会学部です。

今回の企画展では、社会学部の創設から現在までのあゆみ、教育・研究のあらましについて、パネルや写真、ゆかりの品を展示することで理解を深めていただけるよう工夫しました。この機会に、在学生・教職員はもとより、卒業生、それに未来の社会学部生にも、社会学部をより知っていただきたいと思います。そして、社会学部に一層の愛着を感じていただくことができればさいわいです。



関西大学年史編纂室

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-1062(直通)
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/nenshi/>
E-Mail: nenshi@ml.kandai.jp

| ACCESS | 関西大学千里山キャンパス
阪急千里線「関大前」駅下車 徒歩10分
※お車でのご来場はご遠慮ください。



年史編纂室では、関西大学(廃止校・併設校を含む)に関する文書・写真、その他様々な資料の収集、整理、保存を行っています。このような資料に関する情報をお持ちの方は、年史編纂室までお知らせ下さい。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 卒業証書、卒業アルバム、学生証など
- 大学その他関連校や学生団体の刊行物、印刷物など
- 校章・襟章、学生団体のバッジなど

特に次の学校の資料を探しています

関西大学予科 / 関西甲種商業学校 / 第二商業学校 / 関西工業専門学校
関西大学短期大学部 / 北陽商業学校

Kansai University Faculty Sociology